

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	婦人科悪性腫瘍の予後予測マーカーとしての血中carbonyl reductase 1 測定の有用性		
2. 対象患者	上記課題について既に文書にて同意していただいている患者様		
3. 対象となる期間	2019年7月26日 ~ 2022年12月31日		
4. 実施診療科等	産科婦人科		
5. 研究責任者	氏名	高林杏奈	所属 産科婦人科
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	なし		
7. 研究の意義	Carbonyl reductase1(以下CBR1)は肝臓、皮膚、腎臓、血管内皮など様々な臓器で発現しており、先行研究でCBR1の強発現は腫瘍増殖抑制効果があるとされています。患者様の検体からCBR1、CBR1関連タンパクとマイクロRNAを測定し、治療の指標としての応用を目指します。		
8. 研究の目的	血清中、手術検体中のCBR1とCBR1関連タンパク質とマイクロRNAを測定し、悪性腫瘍患者と非悪性腫瘍患者におけるCBR1発現の違い、悪性腫瘍の種類によるCBR1発現の傾向の違いの有無、悪性腫瘍患者における治療経過とCBR1の推移について検討し治療経過や予後予測マーカーとしての有用性を検討します。		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合はの方法等)	産科婦人科で入院治療時に採血させていただいた血液検体に加えて、手術時に採取した検体のうち診断に使用しなかった余剰検体を用いてRNA、タンパクを抽出し、解析を行います。学外への試料提供は行いません。		
10. 個人情報の保護	データの使用は、研究結果報告、本課題に関連した学術会議での発表、論文作成に限定します。その際は統計処理後のデータを使用するため、個人が特定されないようプライバシーは保護されています。		
11. 利益相反に関する状況	この研究における測定検査および諸経費は、研究責任者が所属する診療科の研究費で賄われます。また、この研究の研究責任者と研究分担者は、弘前大学の倫理委員会、利益相反マネジメント委員会において、関連する企業や団体などと研究の信頼性を損ねるような利害関係を有していないことを確認しています。		
12. 連絡先	産科婦人科 高林 杏奈		
	電話	0172 -39-5107	FAX 0172-37 -6842